

関市・富加町連携 歴史歩き講座

◆ 古墳の始まりと終わり ◆

岐阜県中濃地方で隣り合う関市と加茂郡富加町。歴史の上でも関わりの深い2市町で、同じ時代をテーマに現地を歩いて、関連する歴史を学ぶ歴史歩き講座です。

第1弾は中世山城をテーマに「加治田城」と「関城」に登り、第2弾は古代をテーマに「弥勒寺官衙遺跡群」と「半布里遺跡」を巡りました。**第3弾の今年度は、古墳時代をテーマに開催します。**

1回目は富加町の「夕田茶白山古墳」を歩きます。古墳時代はじめの前方後円墳「夕田茶白山古墳」は、令和4年に国史跡に指定された「夕田墳墓群」の一部で、この史跡では弥生時代の墳丘墓から古墳時代の古墳へのうつりかわりを知ることができます。

2回目は関市で、「片山西塚古墳」（小瀬）と「池尻大塚古墳」を巡ります。関市内唯一の前方後円墳である「片山西塚古墳」は古墳時代中期の古墳、国史跡「弥勒寺官衙遺跡群」を構成する「池尻大塚古墳」は古墳時代後期の市内最大級の方墳です。

2市町で、古墳時代の始まりから終わりまでを、2回に分けて歩きます。



関市・池尻大塚古墳

1回目 富加町

日時 1月13日(月・祝) 午前9時～11時
集合場所 富加町郷土資料館
(富加町夕田212)

2回目 関市

日時 2月11日(火・祝) 午前9時～正午
集合場所 弥勒寺史跡公園駐車場
(関市池尻字弥勒寺)

持ち物 飲み物、動きやすい靴・服装、雨具
参加方法 開始10分前から集合場所で受付します。
参加費 無料

～ 昨年度までの「歴史歩き講座」の様子 ～



富加・加治田城



関市・弥勒寺官衙遺跡



富加・半布里遺跡

<照会先>

関市協働推進部文化課 文化財保護センター 担当：森島

関市武芸川町八幡1446-1 武芸川事務所2階 ☎0575-45-0500 (開庁日：月～金曜8:30～17:15)